

## 花巻市男女共同参画基本計画検討委員会（第5回）会議録

- 日 時 平成27年9月25日（金）午後2時00分～午後4時00分
- 場 所 花巻市役所本庁舎3階 302～304会議室
- 出席者 委 員 10名 吉野英岐委員長、伊藤蓉子副委員長、佐々木千恵美委員、  
富手京子委員、高橋潤吉委員、平藤ヒサ子委員、藤原留利子委員、  
沖山深雪委員、曾我紀子委員、早野こずえ委員  
(欠席者5名 菊池敦子委員、板垣福子委員、木村直樹委員、  
伊藤真紀子委員、下坂淳代委員)
- 市 側 5名 久保田留美子地域づくり課長、佐藤拓史同課長補佐、  
佐々木彰子同課市民協働係長、伊藤愛美同課上席主任  
藤原隆志同課主任)
- 傍聴等 傍聴者0名  
報道関係者1名 岩手日日新聞花巻支社

- 次 第
- 1 開 会
  - 2 協 議  
・次期花巻市男女共同参画基本計画（素案）の案について
  - 3 そ の 他
  - 4 閉 会

### ■ 議事録

#### 1 開会

佐藤地域づくり 花巻市審議会等の会議の公開に関する指針により、会議の傍聴を認め公開すること  
課長補佐 ことを説明したのち、開会を宣言。

#### 2 協議

吉野委員長 事務局から説明をお願いします。

佐々木市民協働 〔資料「次期（H28～35）花巻市男女共同参画基本計画の構成（案）」について説  
係長 明。〕

伊藤上席主任 〔資料No.2「次期花巻市男女共同参画基本計画（素案）の案」第3章について説明。〕  
吉野委員長 前回の議論を踏まえて事務局の方で修正した部分についての説明でした。ご質問  
等はありませんか。

佐々木委員 7頁の「審議会等に占める女性の割合」は、「審議会等委員に占める女性の割合」  
とした方がよいと思います。

佐々木市民協働 ご意見ありがとうございます。そのように修正いたします。  
係長

佐々木委員 11頁の「長時間労働の削減の促進」とは具体的にどのような施策の展開になるの  
ですか。有給休暇の取得であれば、市民に対して意識づけを行うことで促進を図  
るのかなと思うのですが、長時間労働の削減については誰にどのようにして働き  
かけていくのかがよく分かりません。

- 佐々木市民協働係長 基本目標3(5)では、市民の方にワーク・ライフ・バランスの重要性とそれを実現するためには長時間労働の削減が必要であるということを啓発します。また、それと同時に(2)にあるように事業所への働きかけも行います。
- 伊藤上席主任 長時間労働の削減は自分ではなかなか難しいのですが、働き方の見直しなど自分でできることを工夫していくという表現の方がよかったかもしれません。
- 富手委員 有給休暇も同じで、休暇を取りたくても取れない現状があると思います。
- 佐々木市民協働係長 まずは、仕事の効率化などを自ら考えて工夫するという意識を持っていただきたいと考えておりますし、事業所へも働きかけを行いたいと思います。
- 吉野委員長 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に定める事業主行動計画では、労働時間について目標値を出していくということなので、まずは市役所から長時間労働の削減について取り組んでいくことと思います。また、300人を超える民間事業主は行動計画の策定、実行が義務となっていますので、この新しい法律によって事業主の意識も変わっていくのではないかと思います。
- 曾我委員 最近ではハラスメントと呼ばれるものが数多くあり、言葉の重みが感じられないので、他の言葉に置き換えていただきたいです。
- 吉野委員長 セクシャルハラスメントは「性的嫌がらせ」という日本語が使われますが、「嫌がらせ」だとハラスメントという言葉より意味が狭く感じます。「ハラスメント」は色々な意味が含まれ、それなりに市民権を持ってきた言葉です。他には、「迷惑行為」や「不当な扱い」という言葉もありますが、意味が限定されてしまいます。「ハラスメント」などに注釈を付けないのですか。
- 佐々木市民協働係長 分かりにくい言葉は、なるべく注釈を付けるようにします。
- 吉野委員長 基本目標3ワーク・ライフ・バランスの推進は、(1)から(5)の両立支援だけに的を絞りと、(6)から(9)は基本目標2に入れてもいいのではないのでしょうか。また、基本目標2(3)と基本目標3(6)とをひとつにし、基本目標2(4)と基本目標3(7)とをひとつにするという形もあります。基本目標3は仕事、家庭、地域のバランスを保つこと、基本目標2はあらゆる場面で男女共に参画することとまとめると分かりやすくなるのではないのでしょうか。
- 佐々木市民協働係長 内部で検討し、その結果を委員の皆様にお知らせしたいと思います。
- 吉野委員長 基本目標1から3は施策の展開と指標ということで(1)から始まりますが、基本目標4だけは別なつくりになっていて、1から始まり5の中に(1)から(3)があります。つくりの整合性がとれていないように感じますが、いかがでしょうか。
- 久保田地域づくり課長 基本目標4は配偶者暴力防止対策基本計画に位置づけるために、敢えて他と異なるつくりをしています。基本目標1から3の施策の展開と指標と同じ考えでいくと、5施策の基本的方向の部分がこれにあたります。他の計画と併せて策定しているために目的などを載せておりますが、整合性を図るという点で検討することも可能です。
- 吉野委員長 基本目標4は配偶者暴力防止対策基本計画として位置付けるものであり、目的などを記載するという注釈をこの部分に入れるとよいと思います。
- 佐々木市民協働係長 目次の中にも同様の注釈を付けたいと思います。

- 吉野委員長 分かりやすくなるように構成についていくつか修正をお願いしましたが、中身については変わりありませんのでよろしくお願いします。  
次に、資料No.1 について説明をお願いします。
- 佐々木市民協働係長 (資料No.1「次期花巻市男女共同参画基本計画(素案)の案」第2章について説明。)
- 吉野委員長 第2章はこれまでの検証になっていますが、ご質問などありませんか。  
では、基本目標ごとの成果と課題はあるのですが、総括的な評価はするのですか。
- 佐々木市民協働係長 全体的な今までの振り返りも必要だと思いますので、検討させていただきます。
- 吉野委員長 まちづくり市民アンケートの数字をみると、子育てしやすいまちだと感じる人はあまり増えなかったということでしょうか。
- 久保田地域づくり課長 施策としては保育料や医療費など 10 年前より充実してきていると思いますが、子育てしやすいまちかという抽象的な質問になると、地域で子育てしていく中で周りの人たちがどう感じるかなど社会的要因も影響してきます。保育園の子どもたちの声を騒音と感じる人が 35%というアンケート結果が新聞に載っており驚きましたし、東京で訴訟となっている例もありますので、社会的な要因が大きく関わっていると思います。
- 吉野委員長 核家族が増えている中で、地域で子育てをどう支えていくのかという問題もありますね。
- 早野委員 資料No.2 の 7 頁ですが、女性の登用促進のためには意識啓発だけではなく、管理職を担えるような人材の育成ということを入れていただきたいです。
- 吉野委員長 8 頁の (4) で女性の能力開発や人材育成について書いていますので、職場における人材育成も含めていくと (1) ともつながってきますね。職業能力というだけではなく、組織のリーダーシップをとっていけるような能力という意味で膨らませて書くとよいですね。
- 早野委員 先日、北東北三大学のシンポジウムに行ってきたのですが、出生率が上がっていても 20 代、30 代がそこに住まない子どもの絶対数は減少するという話を聞いてきました。20 代や 30 代が子育てしやすく、働きやすいまちをつくっていかねばならないと思います。
- 吉野委員長 確かに、分母が減ると絶対数は減ってきますね。仕事と子育て、若い世代が住みやすいまちづくりが必要ですね。  
それでは、ほかにご意見等がなければ一人ずつから全般を通じて感想をお聞きして、その後、ワークショップに入りたいと思います。
- 高橋委員 検討委員会では、男女共同参画はお互いを尊重しましょうということだと言ってきました。この計画が他の方からどのような評価を受けるのかについてはまた別の話ですが、データを分析したり、皆さんの意見を反映させたりしながら計画をつくってこられたので、良かったと思います。
- 沖山委員 これまでの皆さんの意見を拝聴して、意識を変えていくことが大切だということを感じました。
- 伊藤副委員長 横文字ではなく、分かりやすい言葉を使うよう配慮していただいたことを嬉しく思います。また、男女共同参画は、子どもから高齢者まで、自分のために意識を高めることが一番大事だと再確認いたしました。

- 富手委員 女性が社会の中で活躍できるよう女性自身の意識を高めていくことや、有給休暇を取るにしても同じ女性同士の格差を埋めていくことが大切だと感じました。また、若者を育成していく立場としても、この会議で色々と学ぶことができ良かったと思います。
- 早野委員 大変勉強させていただきました。女性が意思決定の場に出て力を発揮することが大事で、参加ではなく参画することが大切だと思います。男女共同参画についてこれからも常に自分に問いかけながら、様々な活動に取り組んでいきたいと思っています。
- 平藤委員 男女共同参画について沢山の知識をいただいたので、自分の意識改革につながりました。これからも男女共同参画を意識して自己研鑽していきたいと思っています。
- 佐々木委員 5月から月1回のペースで検討委員会を開催し、計画策定に取り組んできたことに花巻市の熱意を感じています。計画を策定して終わりではなく、これからの取り組みが重要で大変になるとは思いますが、今後も一緒に取り組んでいきたいと思っています。
- 曾我委員 誰が計画書を読むのかを念頭に、もう少し分かりやすい計画をつくっていただけたらと思います。
- 藤原委員 この委員になるまでは、男女共同参画についてあまりよく分からなかったのですが、検討委員会に参加することにより、自分の家庭や職場など身近なところから男女共同参画について考えられるようになりました。自分自身の意識向上につながりましたし、これからも男女共同参画について考えていきたいと思っています。
- 吉野委員長 計画をつくって、これから8年間取り組んでいくことなので、できるだけ多くの人に分かってもらえるようにしなければならないというのが次の段階ですね。一関では、大東高校のマンガ部にプランを劇画にしてもらっています。花巻でも、若い人たちが参画して一緒に考える機会をつくっていただけたらよいと思います。

### 3 その他

- 吉野委員長 では、事務局の方からまだ説明があるようですのでお願いします。
- 佐々木市民協働係長 (資料「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律の概要」について説明し、さらに、この法律で定める推進計画を男女共同参画基本計画と一体のものとして策定することを説明。)
- (9月7日に開催された男女共同参画審議会で出された意見(花巻市男女共同参画推進条例中、「産む性」という表現について違和感がある。)について報告。今回の意見に配慮し、計画書の中では、基本理念の部分进行他の言葉で表現することとしたい旨を説明。)
- 吉野委員長 先日、市の方から相談を受けた際、条例の中の「産む性」という言葉は、産む、産まない、産めないなど、妊娠や出産に関わる可能性がある性という意味で捉えていただき、計画書の中では多様性を損なわないような書き方をしてはどうかという話をしました。
- ワークショップ (基本計画のキャッチフレーズについて、3つのグループに分かれて話し合い、別紙のとおりキーワードをそれぞれ発表。)

久保田地域づくり課長 5回にわたる検討委員会にご協力いただき、吉野委員長はじめ各委員の皆様、大変ありがとうございました。皆様と一緒に計画を作り上げてきたことは、有意義なことだったと思います。先ほどのワークショップで出た単語は、5回の検討委員会を経て皆さんが大切だと思っていることだと思いますので、それらを基に目指す姿（キャッチフレーズ）を考えていきたいと思います。また、計画を実効性のあるものとするためにも、今後とも皆様のご指導を仰ぎながら取り組んで参りたいと思いますので、ご厚誼のほどよろしく申し上げます。

佐々木市民協働係長 4 閉会  
閉会を宣言